

## 神経心理学検査を受けられた患者さんの

### 検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの個人臨床調査票（カルテ）と神経心理学的検査の結果を使用します。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ窓口」へご照会ください。

【研究課題名】 若年性認知症の認知機能低下率に関する後方観察研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院第一内科

【研究責任者】 山之内純（第一内科 講師）

【研究代表者】 山本政弘（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科部長）

#### 【研究の背景】

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）では、若年性認知症施策の強化が謳われていますが、罹患患者の54%に認知機能障害が報告されているHIV感染症は触れられていません。さらに、HIV感染症は本邦で患者が報告され30年以上経過していますが、未だに社会の差別と偏見は根強く、医療・福祉サービスを受けがたい環境にあります。若年性認知症をもつHIV感染症患者においても暮らしやすい地域を実現するためには、本研究に基づく体制構築が不可欠です。

#### 【研究の目的】

若年性認知症の要因の一つであるHIV感染症の、認知機能低下と関連する原因を明らかにして、HIV感染症患者の認知症の診断・治療・支援に結びつけることです。

#### 【研究の方法】

- 対象となる患者さん

HIV感染症の患者さんで、2004年4月10日から2017年6月30日の間に

神経心理学的検査を受けた方

- 研究期間：2017年11月1日から2020年3月31日
- 利用するカルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、神経心理学的検査）
- 検体や情報の管理  
情報は、研究代表機関である九州医療センターにて集計、解析が行われます。

#### 【研究組織】

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

- その他の共同研究機関：国立病院機構九州医療センター、国立病院機構肥前精神医療センター、国立病院機構琉球病院、国立病院機構名古屋医療センター、飯塚病院、佐賀大学医学部

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ窓口までご連絡下さい。

#### 【お問い合わせ窓口】

愛媛大学医学部附属病院第一内科 山之内純 中尾綾  
791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5296